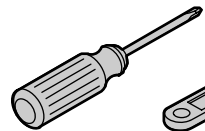
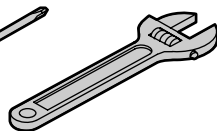


必要工具および現場手配品



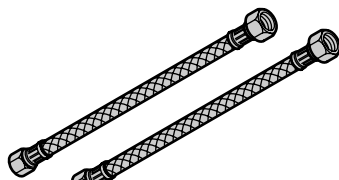
プラスドライバー



モンキーレンチ



ウエス



フレキパイプ1/2"

その他：
カッターナイフ、メラミンスポンジ、プライヤー

トラップ
Sトラップ
Pトラップ
※国産のφ32のトラップが接続可能です。

<p>重要事項 裏面の部品図を参照して同梱品を必ず確認してください。</p> <p>シンク本体の取り付け前に、シンクへの水栓金具の取付をお勧めします。</p> <p>大理石など天然石材製カウンター等は変色等のおそれがありますので石材にあった止水剤をご使用ください。</p>	<p>お知らせ 説明で使用している図が、一部本製品の形状と異なります。裏面の部品図を参照して該当部品をご確認ください。</p>	<p>1 スパウトの取付 エスカッション（台座）の裏面の溝にシーリング材を塗布します。エスカッションとスパウトを水栓穴に入れ、下からワッシャーをはめ込みます。</p> 	<p>2 リフトロッドの取付 ナットを取付ねじにはめ込み締め付けます。リフトロッドをスパウトの穴に差入れます。</p> 	<p>3 固定ナットの準備 固定ナットにネジを仮締めします。（2組）</p> 
<p>4 ハンドルの準備 ハンドル用エスカッション（台座）の裏面の溝にシーリング材を塗布します。</p> 	<p>5 ハンドルの取付 ハンドルを水栓穴に入れます。下部の銅管部に「COLD」のシールがある方を右に、もう一方を左にします。右（COLD）のハンドルは反時計回りに、左のハンドルは時計回りに回し切った状態で、図のように入れ込みます。</p> 	<p>6 固定ナットの仮締め ワッシャー、固定ナットの順に取付ネジにはめ込み、固定ナットを仮締めします。</p> 	<p>7 ハンドル位置合わせ ハンドルを閉じた状態（5で回し切った状態）を再度確認し、ハンドルスパウトがカウンターに並行に一直線に並ぶよう揃えます。その状態を保持しつつ、固定ナットとワッシャーとの隙間が5mm程度になるまで締め込みます。</p> 	<p>8 ハンドルの固定 ネジが前と後になる向きに固定ナットの締め具合を調節し、ネジを締め込みハンドルを固定します。エスカッションまわりのみみ出したシーリング材はウエス等で拭きとります。</p> 
<p>9 ホースの取付 ホースを図のようにねじ込みます。締め付け過ぎるとパッキンを破損します。<u>締め付け過ぎにご注意ください。</u></p> 	<p>10 ホースの接続 ホースをティーに差し込みます。<u>カチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。</u></p> 	<p>11 排水金具の準備 排水金具のフランジを外します。フランジの裏面にシーリング材をほどこします。</p> 	<p>12 排水金具の取付 フランジをシンクの排水穴に押し入れ、排水金具をネジ込みます。袋ナットを締めてシンクに排水金具を固定します。はみ出したシーリング材は水を含ませたウエスやメラミンスポンジで拭き取ります。</p> 	<p>13 横ロッドの取付 横ロッドを図のように排水金具に取り付けます。排水栓下部の穴に横ロッドを通せば取外しができなくなり、通さずに乗せて使用すれば取外しができます。ただし乗せる場合はU字形の溝に横ロッドがはまった状態で排水栓上部のKOHLERロゴが読めるようにネジを調整します。</p> <p>排水栓の下部はネジで高さ調整可能です。</p> 
<p>14 ロッドの接続 リフトロッドと横ロッドを図のように接続します。リンクキットのネジはプライヤーなどを使用して十分に締めてください。リフトロッドを操作して動きを確認し、排水栓の高さ、横ロッド固定ナットの締め具合を調節します。排水トラップを接続します。</p> 	<p>15 給水、給湯の接続 <u>接続前に十分に洗管し、配管内のゴミを吐き出します。</u>スパウト先端の泡沫器を外します。給水、給湯を接続します。</p> 	<p>16 水漏れ確認 止水栓を開き、バルブまで水をはります。接続部に水漏れがないか確認します。</p> 	<p>17 通水 ハンドルを開き通水します。水漏れがないか確認します。泡沫器を戻します。排水栓を閉めて水をため、フランジの止水に漏れがないか確認します。</p> 	

